

「第2次小樽市公園施設長寿命化計画（素案）」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

- 1 意見等の提出者数 2人
- 2 意見等の件数 5件
- 3 上記2のうち計画等の案を修正した件数 0件
- 4 意見等の概要及び市の考え方等

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	参考資料（3）の②で、事後保全型管理に分類した施設は、健全度及び緊急度の判定を行わないとあるが、行った方が良さそうな気がする。その方が、いつ頃、更新または撤去になるか、あらかじめ予想することができ、予算の調整がしやすくなるように思う。	国が策定している「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」により、事後保全型管理に分類した施設については、ライフサイクルコスト縮減効果が見込めないことから、健全度及び緊急度の判定を行っておりませんが、日常点検や定期点検により、適宜、更新または撤去を検討してまいります。
2	参考資料（3）の1）で、物価の変動はどのように考えているのか、気になった。33年や40年と言う長い年月で物価は相当変わると思うが、場合によっては早期に事後保全型管理で更新した方が、安くなる場合はないか。	長期間における人件費や資材などの物価の変動を予測することは難しいことから、それらを見込んでおりませんが、計画期間の中間年において、計画変更の必要性が生じた場合は適宜見直しを行ってまいります。
3	参考資料（3）の（4）で、突然、事後保全型管理施設に「特に安全を確保する施設」という分類が出現していますが、②の中に説明がなかったのが気になりました。	国が策定している「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」により、健全度判定でC又はDに判定した転落防止柵及びバックネットは、事後保全型管理施設に位置付けしております。そして、更新対象施設に優先順位を付けるため、事後保全型管理施設では「特に安全を確保する施設」という区分を設けております。
4	対象の公園や施設の分類に数値しか示されていないことが少し気になった。数が膨大なので資料にできないと思うが、現地の公園内に、その公園がどの管理型で、対象施設がどうなっているのかを記した物を設置して頂けると、利用者が安心して利用できると思う。	管理類型については、ライフサイクルコスト縮減効果の有無を区分し、健全度は劣化状況を把握するものであり、施設の安全性を示すものではないことから、表示板等の設置については考えておりませんが、安心して公園を利用していただけるよう、劣化が著しい公園施設については、利用禁止テープ等の設置により、利用者への周知を図ってまいります。
5	本計画の上位計画に示されているのかも知れないが、人口減少、少子高齢化及び人口重心点の西側への移動などの小樽市を取り巻く環境を反映して、本計画で対象としている公園の増減についてはどのように考えているのかを市民へのサービスのひとつである公園設備の持続性視点から説明を追記して欲しい。	本計画は、既存公園施設の延命化を図るものであり、公園の増減に係る基本的な考え方については、上位計画である「第2次小樽市緑の基本計画」の第4章の2（3）主要施策④公園・緑地の整備において、都市公園の適正な配置や機能の集約について記載しております。